

事業所名

保育とりハのレフティ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

8日

法人（事業所）理念		「レフティ」とはフィンランドの言葉で「葉っぱ」を意味します。フィンランドは福祉国家として知られ、質の高い福祉サービスを受けられるよう設計されており、そのような質の高いサービスを目指し、たくさんの葉っぱ（能力）が育ち、素敵な樹（人）に成るといふことの願いが込められています。 “楽しい”遊びをカラダを通して、子どもの「できた」を積み重ね、日常生活や就学に必要なカラダの使い方を経験していきます。							
支援方針		保育と療育の経験がある保育士と小児専門の理学療法士が運営している、児童発達支援・放課後等デイサービスの事業所です。 お子さま一人ひとりを評価し、個別でのプログラムを作成し、個別・小集団の療育を提供します。 5領域の中でも、成長発達において最も重要な、基礎となる「感覚・運動面」を中心とした支援を行います。							
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康あってこそ、活動に参加できると考えており、健康面については体調に合わせた活動を配慮し、健康面についても食事や睡眠、排泄など保護者との意見交換を積極的に行うよう心がけています。健康的な生活リズムや実際の場面の聞き取り、アドバイスをを行うとともに、子どもたちへの基本的な生活スキルの習得を目指し支援しております。							
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を図る。日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持、上肢下肢の運動・動作改善及び習得、筋力の維持・強化を図ります。 保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、遊びなどを通して支援します。 感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整などの支援を行います。							
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知昨日の発達を促します。物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間などの概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手がかりとして活用できるように支援します。数量、大きさ、重さ、色の違いなどの習得のために支援します。認知の偏りなど							
	言語コミュニケーション	言語の形成と活用（身体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発生を促す支援を行う） 受容言語と表出言語の支援（話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う） 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得などを含めたコミュニケーション能力の向上）							
	人間関係社会性	まずは安定した関係を形成するための支援を行い、遊び等通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援します。 見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。 周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う、連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、社会性の発達を促します。さらに自分の行動や気持ちを理解し調整できるように支援します。最終的に集団への参加できるように支援します。							
家族支援		日頃から面談や子育てに関する相談を迅速に対応できるように体制を整えています。連絡帳以外で写真やSNS等を利用して情報伝達しています。 家族会などのイベントを開催したり、ご家族との対話を大事にしています				移行支援		お子さんの入園や就学について、保護者や入園、就学先の施設との情報提供できるよう取り組んでいます。	
地域支援・地域連携		こども園、保育園、幼稚園、学校などを訪問し、具体的な支援方法について情報共有しています。				職員の質の向上		内部の研修を定期的で開催し、外部研修への参加を援助しています。 チームカンファレンスなどを通して、職員の質の向上に努めています。	
主な行事等		それぞれの季節の遊び：お花見（春）、水を使った遊び（夏）、落ち葉探し（秋）、制作でクリスマスや節分（冬） 保護者（親）の会							